

青 消 第 8 6 4 号  
平成 2 8 年 1 0 月 1 1 日

関 係 各 位

青森県危機管理局消防保安課長  
( 公 印 省 略 )

「地域防災力向上シンポジウム in 青森 2016」  
の開催について (通知)

本県防災消防行政の推進について、平素から格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、現在、人口減少や少子化・高齢化の進行に伴い、地域活動の担い手が減少し、地域防災力の維持が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、次世代の防災人財育成や県民の防災・減災の取組の一層の推進を図り、青森県の地域防災力の向上に繋げることを目的に、消防庁等とともに標記シンポジウムを開催いたします。

つきましては、本シンポジウムについて、貴下関係職員に御周知いただくとともに、参加を希望される場合は、別紙の参加申込書を 11月2日(水)までに提出して下さるようお願いいたします。



担当 青森県危機管理局消防保安課  
消防・予防グループ 阪本  
電話 017-734-9086  
FAX 017-722-4867  
E-mail shuhei\_sakamoto@pref.aomori.lg.jp

2016年10月11日 担当 情報共有フォルダ  
スケジュール登録

# 地域防災力向上シンポジウム in 青森 2016

来る人口減少時代に、その一歩が大切！～地域一丸となった防災・減災への備え～

## 1 目的

東日本大震災以降も毎年のように人命を脅かす災害が発生しています。

本県もこれまで幾多の災害に見舞われてきましたが、自助・共助・公助による力を結集し、これらの難局を乗り越えてきました。

しかし、現在、人口減少や少子化・高齢化が進行する中で、地域活動の担い手が減少し、地域のつながりや自立的な活動、そして地域防災力の維持が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、次世代の防災人財の育成や県民総ぐるみによる防災・減災の取組の一層の推進を図り、青森県の地域防災力の向上を図る機会とします。

## 2 日時・場所

- (1) 日時 平成28年11月15日(火) 13時から16時まで
- (2) 場所 青森国際ホテル 3階「萬葉の間」

## 3 開催概要

- (1) 参加人員 300名程度
- (2) 参加者 一般県民、自主防災組織(女性(婦人)防火クラブ・少年消防クラブ等)、民間企業、学校、病院関係者、消防・防災関係者、行政
- (3) 主催 消防庁、青森県、青森市、(公財)青森県消防協会
- (4) 後援 (公財)日本消防協会、(一財)日本防火・防災協会、(一財)消防防災科学センター、青森県市長会、青森県町村会、青森県消防長会、日本赤十字社青森県支部、青森県幼少年女性防火委員会、青森地域防災協会、青森県教育委員会

## 4 次第

- (1) 開会
- (2) 主催者あいさつ 消防庁長官、青森県知事
- (3) 基調講演(50分) 「はじめよう！みんなで防災！～過去から学び、未来へとつなぐ災害への備え～」  
山口大学大学院創成科学研究科准教授・消防大学校客員教授  
瀧本 浩一 氏 (青森県防災アドバイザー)
- (4) 事例発表者(30分) おいらせ町深沢自主防災会 会長 深沢 栄悦 氏  
八戸市 豊崎女性消防クラブ 会長 奥田 マサ子 氏  
弘前市 経営戦略部 防災安全課 主事 小笠原 溪 氏
- (5) パネルディスカッション(90分)  
「県民総ぐるみの防災をみんなで考える」  
(一財)青森地域社会研究所 調査研究部長 長尾 匡道 氏  
(株)AOMORIロジステック 代表取締役 社長 野土谷 泰大 氏  
(消防団員)  
五戸町消防団 本部付分団長 中川原 永子 氏  
青森市相馬町町会防災会 会長 太田 孝 氏  
弘前大学ボランティアセンター 平井 典子 氏  
(人文社会科学部)  
[コーディネーター]  
山口大学大学院創成科学研究科准教授・消防大学校客員教授  
瀧本 浩一 氏
- (6) 閉会

別紙

<関係団体用>

青森県危機管理局消防保安課 消防・予防G 阪本 行き

FAX : 0 1 7 - 7 2 2 - 4 8 6 7

※送信状は不要です。

送信者： 所属名

担当者名

電話番号

## 地域防災力向上シンポジウムin青森2016

### 参加申込書

	所属名	職名	氏名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年11月2日(水)までにお申し込みください。